

キャラクター名
藤咲 詩乃

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー		ワークス	UGN支部長A	カヴァー	カフェ店長
	パロール			年齢	28	性別
オプション	覚醒	償い	衝動	加虐	初期侵食率	33%
出自	義理の両親		経験	禁断の愛	邂逅	殺意

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	1	1	0			2	行動値	9
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	9
精神	3	0	0			3	戦闘移動	14
社会	1	0	0			1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:	2		芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
滅びのかぎ爪	白兵	2r+4	3	Lv+7		↓対抗種が乗ればダメージに+2d10。HP-3。
80以下	白兵	8r+4	7	9		かぎ爪前提【漆黒+鮮血+C】防御無視、HP-6
100以下	白兵	8r+4	11	21		かぎ爪前提【漆黒+鮮血+ブラバ+C】防御無視、HP-11
100以上	白兵	14r+4	15	21		かぎ爪前提【漆黒+鮮血+ブラバ+始祖+C】防御無視、HP-14

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: UGN幹部	
コネ: 要人への貸し	
コネ: 手配師	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
遺産	P 尽力	N 脅威		
No.04対抗種	P 信頼	N 疎外感		
"狩獵者" 伊庭宗一	P 執着	N 憎悪		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
C:パロール	2	2	Xジャー					
効果:	C値-Lv 下限7							
漆黒の拳	1	3	Xジャー	武器	単体	白兵	-	
効果:	素手装甲無視 攻撃力+<Lv>							
鮮血の一撃	5	2	Xジャー	武器	-	白兵	-	
効果:	白兵d+<Lv+1>。HP-2							
ブラッドバーン	3	4	Xジャー	-	-	シンドローム	80%	
効果:	攻撃力+<Lv*4>。HP-5							
始祖の血統	3	4	Xジャー	-	-	シンドローム	100%	
効果:	判定d+<Lv*2>。HP-3							
滅びのかぎ爪	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	素手データ変更。攻撃orガードでHP-4							
斥力跳躍	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	飛行状態で戦闘移動を行う。その際の移動距離を+<Lv*2>。							
赤方偏移世界	1	2	セット	視界	単体	自動	-	
効果:	そのR間対象の行動値を+<Lv*2>し戦闘移動の距離を+10m。							
時の棺	1	10	オート		単体		100%	
効果:	いつもの。シナリオ1回。							
裸の王様	1							
効果:	支部のほとんどの機能を自分とこの+10人で賄っている							
刻の魔術師	1							
効果:	熟成ワインと燻製が好き							
効果:								
効果:								

130+60点作成 EA環境

ふじさき しの

礼儀正しく面倒見がよい女性。支部長になってから趣味の料理もろくに出来なくなったことに嘆いている。ただしその中身は黒い感情が常に渦巻きやりの拳の行く先を常に探している。UGNに入った当初は何かを思案していることが多く、物憂げな表情と虚ろな瞳からコードネームがついた。なお京都出身ではないため標準語で喋る。

幼い頃にオーヴァードが引き起こした事故で両親が他界。その後親戚一家に引き取られ過保護気味に育てられた。16歳の頃に同年代だった男の子と交際をし、彼がFHという組織のメンバーであること、日常に隠されていたオーヴァード達の存在を知る。覚醒したのはその後、19歳の時。彼が行方を晦まして半年後のことだった。唐突に伊庭宗一から告げられた真実は彼女を覚醒させるのに余りあるもので、以降彼女の人生の全ての動力源となった。